

「キリストの恵みは満ちあふれる」

ローマ5：12-17

堀田修一 23・1・22

I 罪が世界に入り死が入った

1. 「こういうわけで、ちょうど一人の人（人類の代表のアダム）によって罪が世界に入り、罪によって死が入り、こうして、すべての人が罪を犯したので、死がすべての人に広がった」：12。

①アダムが人類の代表として罪を犯したので、全人類に罪が入り、死が広がった。※旧約聖書の人々の寿命が長い（創世記5章他）ことの説明。罪がなければ死なない非常に良い命がアダムに与えられていたことから理解したい。

②この事実が教えられるとき、人間はこのような疑問を持つ。「アダムのせいで、すべての人に罪と死が入るのは不公平ではないか」。洗礼の学びの時にそのような疑問を持たれる方に私はこう答える。「そのような気持ちになるのは理解できます。私は、このように自覚しています。もし私がアダムとエバの立場だったら、私も弱さがあり悪魔の誘惑に負けて同じ罪を犯しただろうと自覚しています。なぜなら、今、私は、いのちのみことばと心に助け主の聖霊がおられても時々、神の喜ばれない罪を犯す弱さを深く自覚しているからです」と。人類に神が良心を与えられていても人は悪い事をする。聖書も語る→「義人はいない。一人もいない。悟る者はいない。神を求める者はいない。すべての者が離れて行き、だれもかれも無用の者となった。善を行う者はいない。だれ一人いない」ローマ3：10-12）。

2. 「実に、律法が与えられる以前にも、罪は世にあったのですが、律法がなければ罪は罪として認められないのです」：13。律法、法律がなければ、罪、悪を認める基準がない。しかし罪、悪は常にある。

3. 「けれども死は、アダムからモーセまでの間も、アダムの違反と同じようには罪を犯さなかった人々さえも、支配しました」：14。アダムとエバに罪が入ってから、アダムとエバから生まれる人々にはアダムとエバが最初に神に背いた罪＝原罪の罪の性質が遺伝するようになった。それゆえに人類で罪の性質がなく生まれてくる人はいない。すべての人は、罪からの救い主キリストを必要としている。

4. 「アダムは来たるべき方のひな型です」：14。神が人類の代表とされたアダムは、来たるべき人類の回復の代表、救い主キリストのひな形＝来たるべき方を前もって表わす者、予型。あらかじめキリストを示している。ですから、アダムを理解することはキリストを理解すること。その真理は、Iコリント15章に記されている。旧約聖書と新約聖書を共に読むことが重要。「死が一人の人（アダム）を通して来たのですから、死者の復活も一人（キリスト）を通して来るのです。アダムにあってすべての人が死んでいるように、キリストにあってす

べての人が生かされるのです」：21, 22。『最初の人アダムは生きる者となった。』しかし、最後のアダム（キリスト）はいのちを与える御霊となりました。…第一の人（アダム）は地から出て、土で造られた人ですが、第二の人（キリスト）は天から出た方です」：45, 47。

Ⅱ アダムとキリストの類似点と相違点

「アダムは来たるべき方のひな形です」：14。ここでは、前の節のアダムが来たるべきキリストの「ひな形」＝キリストのタイプ、型、予型ということ、その類似点と大きな違いが15節から語られる。

1. アダムとキリストの類似点。

①この二人は人間の歴史にとって決定的な役割があった。二人とも、神により人類の代表とされた。アダムは最初の人間だった。彼はその後の全人類を代表している。それに対しキリストは、「最後のアダム」（Iコリント15：45）と記されている。キリストも人類の代表として世に来られた。アダムは罪の中にある古い人の代表であり、キリストは罪を贖われた新しい人、回復の代表。このように、二人は神との関係において、代表の役割を担った。

②アダムもキリストも、神から重大な約束を与えられた。神はアダムにこう約束された＝「もしあなたが、この善悪の知識の木から食べなければ、あなたはエデンの園で神との交わりを続けることができる。あなたは生活を楽しみ、死ぬことはない。しかし、もし、神であるわたしが禁じた善悪の知識の木（神こそが真の善悪を知り判断されることを象徴する木）から食べるなら、あなたは必ず死ぬ（肉体的に神の時に死ぬと同時に神との幸いな交わりから断たれる）」（創世記2：15－17、23, 24）。しかしアダムは、この大切な命令を守らず、神のテストの不合格者となった。一方、キリストも神からの約束を受けられた。これは「贖いの契約」と呼ばれている。神はキリストを回復の代表の第二のアダムと定め、こう契約された。「もしあなたが神の律法を生涯、完全に守り、神の義を満たし、そして罪人である人間の身代わりとして十字架で死に復活し、彼らの罪を贖うなら、あなたを救い主、主と信じる者たちを救おう」。キリストはアダムと違い、悪魔の誘惑に勝利し（公生涯の初め＝マタイ4：1－11）、神のテストに合格し、救いの契約を見事に果たされた。この完全な救い主キリストの御業がなければ私たちの救いはなかった！感謝！

③アダムもキリストも、その後続く人々に決定的な影響を与えた。アダムの神に背く罪が人類に罪の結果（死、滅び）をもたらしたように、キリストの完全な従順と十字架と復活による完全な義も主を信じるすべての者に驚くべき救いという恵み、結果（罪の赦しと永遠のいのち、神との交わりの回復）をもたらした。

2. アダムとキリストの相違点。「しかし、恵みの賜物は違反の場合と違います。もし一人の人（アダム）の違反によって多くの人々が死んだのなら、神の恵みと、一人の人イエス・キリストの恵みによる賜物は、なおいっそう、多くの人に満ちあふれるのです」：15。

①第一の相違点は、キリストによって与えられる恵みはアダムの違反に比べてはるかにまさる素晴らしいもの。この15節で強調されているのは「なおいっそう」ということば。これはローマ5章全体の鍵になることばで、5章の中に4回出てくる。この繰り返しにより強調されているのは、キリストの救いの恵みは、アダムの違反に比べ、はるかにまさるといふ真理。その恵みが「多くの人（主を信じる人）に満ちあふれる」とある。その恵みとは何か。

それは私たちの数え切れない罪の赦し、神との和解、神との豊かな交わり。これらはみなアダムの違反により失われていたが、今や、キリストによってあふれるばかりに回復された。私たちは、今日、主の溢れる恵みを数え、心から感謝し、御名が崇められるように祈りたい。

②私たちの多くの違反、罪が義とされる。「また賜物は、一人の人が罪を犯した結果とは違います。さばきの場合は、一つの違反から不義に定められましたが、恵みの場合は、多くの違反が義と認められるからです」：16。アダムに繋がる人間はみな、罪を犯し、有罪となり刑罰を受ける。これに対してキリストの御業は「恵みの場合」と言われているように、全くの圧倒的な恵み。それは私たちを神への感謝と讃美に導く。これは正に神の奇跡の恵み。

③「もし一人（アダム）の違反により、一人によって死が支配するようになったのなら、なおさらのこと、恵みと義の賜物をあふれるばかり受けている人たちは、一人の人イエス・キリストにより、いのちにあって支配するようになるのです」：17。「キリストにより、いのちにあって支配する」とは、第一に、主を信じ主につながる私たちが、もはや死の奴隷ではないということ。主を信じる私たちは、死（永遠の滅び）から解放された。死の恐れからも解放された。私たちはキリストの永遠のいのちによって生かされている。もはやアダムの古いのちにつながっていない。キリストにつながり合わされ、死（永遠の滅び、神との断絶）から完全に解放されている。罪の奴隷でもない。もはや罪の支配から解放された。罪の支配から解放されているからこそ、御霊とみことばの力で罪と戦うことができる。神の時にキリストが再臨されるとき、私たちはキリストと共に神の国を相続する。

祈り：私たちが、日々の悩み、試練の中で、主の驚くべき恵みを見失うことがありませんように。日々、自分が数え切れない罪を犯してきたかを告白し、その罪人のかしらである私たちに対する数え切れないあふれる神の恵みを日々、数え心から感謝し御名を崇めます。